

## 第16回 神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会 議事要旨

1. 日 時：平成28年7月26日（火）16:00～17:00

2. 場 所：横浜国道事務所 2階 会議室

3. 議 事：

### （1）議題1：委員会の検討経緯と論点

- ・ 事務局より委員会の検討経緯と本日の議題について説明した。

#### 【意見・質疑】

- ・ 特になし。

### （2）議題2：渋滞対策の進捗状況確認

- ・ 事務局より既存事業の開通（完了）状況について報告した。

#### 【意見・質疑】

- ・ 特になし。

### （3）議題3：最新の交通状況による分析

- ・ 事務局より主要渋滞箇所のモニタリング結果について報告した。

#### 【質疑】

Q1 主要渋滞箇所の効果確認について、圏央道から離れている、つきみ野入口交差点と早川交差点を、圏央道開通による効果と位置づけた理由を説明して欲しい。（東日本高速道路）

A1 つきみ野入口交差点と早川交差点は、圏央道と並行しており、圏央道への交通転換が見込める箇所と考えられる。（事務局）

Q2 主要渋滞箇所が410箇所と多くある中で、この6箇所だけ効果が出ている理由は何か。他にも圏央道の開通による効果が出ている箇所があるのではないか。（東日本高速道路）

A2 圏央道の整備により、基準値を満足した箇所がこの6箇所となっている。表現方法については検討させていただきたい。（事務局）

#### 【意見】

- ・ 丸子中山茅ヶ崎線（南山田大圃勝田地区）の開通後の交通状況は、モニタリング結果の通りと感じている。（横浜市）

- ・ （仮）勝田橋北側交差点を主要渋滞箇所から解除することは問題ないと思われる。（委員長）

### （4）議題4：渋滞対策箇所の効果確認

- ・ 事務局より渋滞対策箇所の効果確認について報告した。

#### 【質疑】

Q1 新たな高速道路料金導入により、第三京浜や横浜新道の交通量が減少しているが、減少した交通量はどの路線に転換したのか。また、広域的な移動の中での経路変更であ

ればよいが、一般道路に悪影響を及ぼしているのであれば問題であるので、今後もデータ検証を行ってほしい。（委員長）

- A1 今後、並行する一般道路を中心にデータ分析していく予定であり、分析結果は報告していきたい。（事務局）

【意見】

- 国道 357 号東京湾岸道路の効果確認について、バス事業者の声だけでなく、バス事業者が所有しているデータを分析してみてはどうか。（委員長）

**（5）議題 5：優先検討箇所の検討状況**

- 事務局より優先検討箇所の検討状況について報告した。

【意見】

- 現地判断方法のチェックシートについて、それぞれの道路管理者が共通の理解をもって、同じ判断ができるように、チェック項目の表現を工夫した方がよいのではないか。（東日本高速道路）

**（6）議題 6：ワーキンググループの進捗状況報告**

- 事務局より神奈川県東名軸渋滞ボトルネック検討 WG、神奈川県渋滞ボトルネック検討 WG の開催概要について報告した。

【意見・質疑】

- 特になし。

以上